

**Lecoo**

特定小電力ハンディートランシーバー

**P808**

取扱説明書

このたびは、400MHz帯特定小電力トランシーバー P808をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。

この製品につきまして、万一御不審な点がありましたら、なるべくお早めにお買い上げ頂いた販売店あるいはCSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

## 安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒にいつでも取り出せる場所に保管してください。

### 絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

禁止	ぬれ手禁止	水ぬれ禁止	分解禁止
風呂、シャワー室での使用禁止	指示を守る	電源プラグを抜く	
注意	感電注意		

---

## 警告 (無線機について)

---

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。



- 当社指定の電池・充電器以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機で使用できる電池は単3形アルカリ電池、単3形マンガン電池とオプションのニッケル水素充電電池NB808JAです。



- 無線機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電池は分解しないでください。電池を漏液・発熱・破裂させる原因になります。



- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはCSRカスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、無線機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が無線機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、無線機を落したり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



- 濡れた手で無線機に電池を取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。



---

## ⚠ 警告 (無線機について)

---

- 無線機は日常生活における防滴構造になっています。しかし、無線機を水で濡らしたり、水につけたり、水道やシャワーなどの水流を直接かけることはしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- ニッケル水素充電電池に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



- 
- 電池は火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
  - 電池の端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池を単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。
- 



---

## ⚠ 注意 (無線機について)

---

- 無線機の分解およびアンテナの付け替え等は、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。
- 無線機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（証明規則）第2条8号「工事設計の認証（認証）を受けた無線局」です。無線機の背面に貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。



- 
- 無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。



- 
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両、病院などの使用を禁止された場所では、無線機の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
  - お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
  - 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
  - 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
  - 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
  - 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。



---

## 警告 (ニッケル水素充電電池について)

---

- ニッケル水素充電電池の充電を行うときは、0℃～+40℃の温度範囲で行ってください。
- ニッケル水素充電電池には、当社指定の無線機・充電器以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



- ニッケル水素充電電池は火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となります。
- ニッケル水素充電電池に直接はんだ付けしないでください。
- ニッケル水素充電電池の端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。
- ニッケル水素充電電池を単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。



- ニッケル水素充電電池は分解しないでください。



- ニッケル水素充電電池を水の中に落とした場合は使用しないでください。
- ニッケル水素充電電池から漏液し、目に入ったときは、こすらずにすぐきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の診察を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。
- ニッケル水素充電電池から漏液し、皮膚や衣服に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。炎症等の皮膚障害を起こす原因となります。



---

## ⚠ 警告 (ニッケル水素充電機について)

---

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、ニッケル水素充電機の漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。すぐに無線機の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。
- 万一、ニッケル水素充電機を落としたり、破損した場合は、まず無線機の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用するとニッケル水素充電機の漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。



- 
- 濡れた手でニッケル水素充電機を無線機に取り付け・取り外ししないでください。また、ニッケル水素充電機は濡れた手で充電などを行わないでください。ニッケル水素充電機の漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。



- 
- ニッケル水素充電機の端子は防水構造になっておりません。ニッケル水素充電機を水で濡らしたり、水につけたり、水道やシャワーなどの水流を直接かけることはしないでください。ニッケル水素充電機の漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。
- 



---

## 警告 (ニッケル水素充電電池について)

---

- ニッケル水素充電電池の上や近くに水などの入った容器を置かないでください。こぼれたりした場合、ニッケル水素充電電池の漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。
- ニッケル水素充電電池の充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。充電端子の腐食やニッケル水素充電電池の漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。
- 濡れた布にニッケル水素充電電池の端子をあてて置かないでください。充電端子の腐食やニッケル水素充電電池の漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。
- ニッケル水素充電電池はプラス・マイナスの向きが決められています。無線機に接続する時にうまくつながらない場合は無理に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、ニッケル水素充電電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、ニッケル水素充電電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- ニッケル水素充電電池は充電器を介さずに直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口に接続しないでください。感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、ニッケル水素充電電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因になります。





---

## 警告 (ニッケル水素充電電池について)

---

- ニッケル水素充電電池を自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所で充電しないでください。高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
  - ニッケル水素充電電池を電子レンジや高压容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
  - ニッケル水素充電電池に高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。ニッケル水素充電電池が変形したり、ニッケル水素充電電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でニッケル水素充電電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
  - ニッケル水素充電電池に釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。ニッケル水素充電電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 
- 充電を行うときに、所定の充電時間を越えても充電が終了しない場合、充電器からニッケル水素充電電池を抜き、充電を停止してください。ニッケル水素充電電池の漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。
- 



---

## **注意** (ニッケル水素充電機について)

---

- ニッケル水素充電機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。
- お手入れの際は安全のため無線機の電源を切って、充電器は無線機から外してください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- ニッケル水素充電機を無線機に付けて使用するときは、 $-10^{\circ}\text{C}$ ～ $+50^{\circ}\text{C}$ の温度範囲で行ってください。
- 充電が出来ないとき、あるいは充電が完了したニッケル水素充電機を無線機に取り付けても電源が入らないときは、使用を中止してください。
- 長期間ニッケル水素充電機を使用しないときは、乾燥した冷暗所にて保管してください。高温多湿の環境で長期間保管しますと、ニッケル水素充電機の性能を劣化させることがあります。



不要になったニッケル水素充電機は廃棄せず、販売店またはCSRカスタマーサポートにご持参ください。



Ni-MH 00

---

## 警告 (充電器について)

---

- 充電器は交流電源 100 V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器には当社指定の無線機・ニッケル水素充電電池以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器はタコ足配線をしないでください。火災・過熱の原因となります。



- 
- 充電器を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



- 
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または CSR カスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
  - 万一、充電器の内部に水などが入った場合は、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いて販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
  - 万一、異物が充電器の内部に入った場合は、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いて販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
  - 万一、充電器を落としたり、破損した場合は、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いて販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



- 
- 濡れた手で充電器の電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



---

## 警告 (充電器について)

---

- 充電器を他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器の上や近くに小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器の上やろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。



- 
- 雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。感電の原因となります。



- 
- 充電器を風呂場では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
  - 充電器の上や近くに水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中にはいった場合、火災・感電・故障の原因となります。



- 
- ニッケル水素充電電池はプラス・マイナスの向きが決められています。無線機に接続する時にうまくつながらない場合は無理に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、ニッケル水素充電電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、ニッケル水素充電電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
  - ニッケル水素充電電池は充電器を介さずに直接電源コンセントや自動車のシガレットライターに接続しないでください。感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、ニッケル水素充電電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因になります。
  - ニッケル水素充電電池を自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所で充電しないでください。高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。
  - ニッケル水素充電電池を電子レンジや高圧容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。



---

## ⚠ 注意 (充電器について)

---

- 充電器をテレビ・電子機器・医療器の近くでは、ご使用にならないでください。



- 旅行などで長期間、充電器をご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため充電器の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 万一の事故防止のため、充電器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを取り外せる環境でご使用ください。



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 充電器の電源プラグを抜くときは、必ず充電器を持って抜いてください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



## お願い

- 充電は、電源を切った状態で行ってください。
- ニッケル水素充電電池は、ご使用前に必ず充電器で充電してからお使いください。
- 電池が消耗すると、表示部に“Lo”が表示されます。このようなときには、速やかに充電を行ってください。
- 無線機、ニッケル水素充電電池および充電器の端子が汚れていると、充電できないことがあります。充電端子はいつもきれいにしてお使いください。

本機は、国内仕様です。国外では  
使用できませんのでご注意ください。

# 目次

安全上のご注意 .....	ii	応用操作 .....	25
絵表示について .....	ii	レピータ運用 (半複信方式) .....	27
目次 .....	1	定 格 .....	30
特長 .....	2	その他 .....	32
付属品 .....	3	保証・アフターサービス .....	33
各部の名称 .....	4		
機能説明 .....	5		
表示部のアイコン名称 .....	7		
ニッケル水素充電電池の充電方法 .....	8		
準備 .....	8		
電池ケースの取り外しかた .....	10		
電池の入れかた .....	10		
ハンドストラップの取り付けかた .....	11		
基本操作 (単信方式) .....	12		
チャンネル番号合わせ .....	14		
送信 .....	15		
受信 .....	16		
その他の通信方法について .....	17		
モニター機能 .....	18		
キーロック機能 .....	18		
基本操作 .....	18		
秘話機能 .....	19		
スキャン機能 .....	20		
呼び出しビープ機能 .....	21		
オートスリープ機能 .....	22		
ビープオフ機能 .....	23		
バッテリーセーブ機能 .....	24		
バックライト機能 .....	24		
グループ通話 .....	25		

# 特長

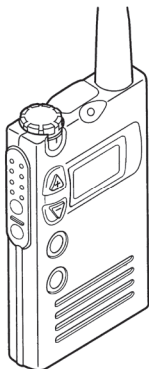
- 本機は、電波法施行規則第6条「特定小電力無線局」に該当する400MHz帯単信および半複信方式トランシーバーで、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（証明規則）第2条8号「工場設計の認証（認証）を受けた無線局」です。免許および申請手続きは一切不要ですので、お買い上げいただいたその日から、ご使用になれます。
- 超薄型・超軽量のコンパクトボディを実現  
わずか15mmという今までにない超薄型を実現。また、55mm×94.5mmと、まさにカードサイズ。軽さも110gと超軽量で、胸のポケットに入れても邪魔になりません。
- アウトドアでも安心の日常生活防滴設計  
JIS防護等級4種防まつ形をクリア。多少の雨や雪の中でも使用できます。
- 本格的無線機ながら単3形乾電池1本での動作を可能としました。
- 電池残量表示機能を装備していますので、電池の消耗割合を知ることができます。
- チャンネル数は単信方式として業務用11チャンネル、レジャー用9チャンネル、半複信方式（レピータモード）として業務用18チャンネル、レジャー用9チャンネルの合計47チャンネルを実装しています。
- グループ番号を決めてのグループ通話（最大38グループ）が可能です。  
また、秘話機能により通話を他人に聞かれるのを防ぐことができます。
- 通話可能範囲は、周囲の建物等の状況により異なりますが、見通しの良い場所（スキー場や海岸など）では、約1～2Kmです。
- オプションの特定小電力無線電話用レピータを使用した通話が可能です。



# 付属品

まず、下記の付属品が揃っているかご確認ください。  
万が一不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

無線機本体..... 1



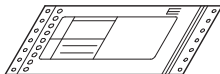
ハンドストラップ..... 1



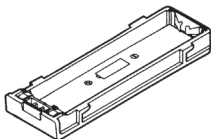
取扱説明書..... 1



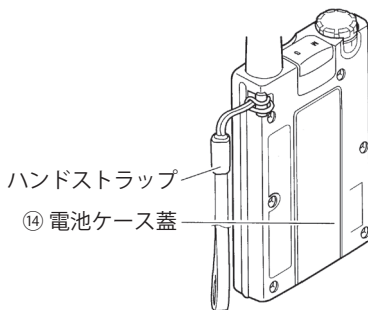
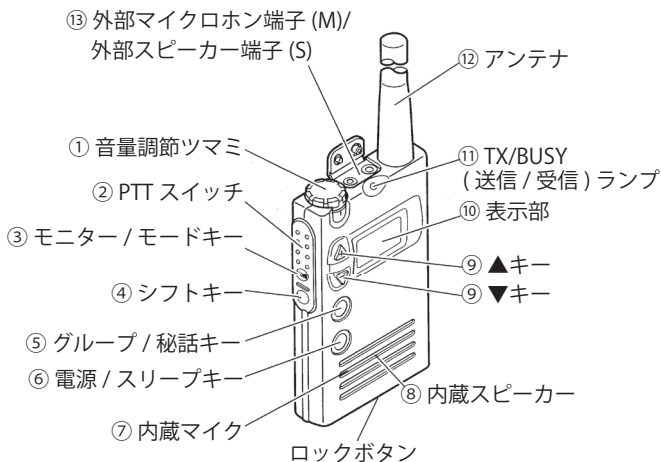
保証書..... 1



ニッケル水素充電電池用ケース..... 1



# 各部の名称



## 機能説明

### ① 音量調節ツマミ

- 音量を調節するツマミです。時計方向 (🕒) へ回すと音量が大きくなります。
- 反時計方向 (🕒) へ回し切ると音量が小さくなります。

### ② [PTT] スイッチ

- このスイッチを押すと送信状態になり、離すと受信状態になります。

### ③ [モニター／モード] キー

- このキーを押すとモニター状態になります。
- スピーカーの音量調節を行うときや、通話相手の電波が弱く音が途切れる場合に、このキーを押してください。
- 一度押すとモニター状態 (音声ミュートの解除) になり、もう一度押すとモニター状態が解除されます。
- 1.5 秒以上押すと単信方式と半複信方式の切り換えができます。( [モニター／モード] キー動作)
- [シフト] キーを押した後にこのキーを 1.5 秒以上押し、ビーブオフ機能の開始と解除を行います。

### ④ [シフト] キー

- このキーを押した後に他のキーやスイッチを押すことで、機能を拡張します。
- このキーを 2 秒以上押すと、キーロック状態になります。

### ⑤ [グループ／秘話] キー

- このキーを押すと、グループ機能の設定や解除ができます。
- [シフト] キーを押した後にこのキーを押し秘話機能の開始と解除を行います。

### ⑥ [電源／スリープ] キー

- 電源のオン／オフをします。2 秒以上押すことで ON/OFF が切り替わります。
- [シフト] キーを押しながら、このキーを押しオートスリープ機能の開始と解除を行います。


### ⑦ 内蔵マイク

- ここに向かって話してください。

## ⑧ 内蔵スピーカー

- 水滴に強いマイラーコーンを使用した直径28mmのダイナミック・スピーカーを採用しています。

## ⑨ [▲] キー / [▼] キー

- これらのキーを押すとチャンネル番号または、グループ番号が変わります。キーを押し続けると連続して番号が変化します。尚、キーロックモード (表示部に  が表示) のときは、番号の変更ができません。
- [シフト] キーを押した後に [▲] キーを押し、スキャンの開始と解除を行います。
- [シフト] キーを押した後に [▼] キーを押し、ビープ機能の開始と解除を行います。

## ⑩ 表示部

- チャンネル/グループの番号、チャンネル/グループ、キーロック機能、電池残量やその他機能の設定状態の表示を行います。

## ⑪ TX/BUSY (送信/受信) ランプ

- 送信中は赤色に、受信中またはモニター動作状態のときは緑色に点灯します。

## ⑫ アンテナ

- $\lambda/4$ フレキシブルアンテナが本体に固定されています。

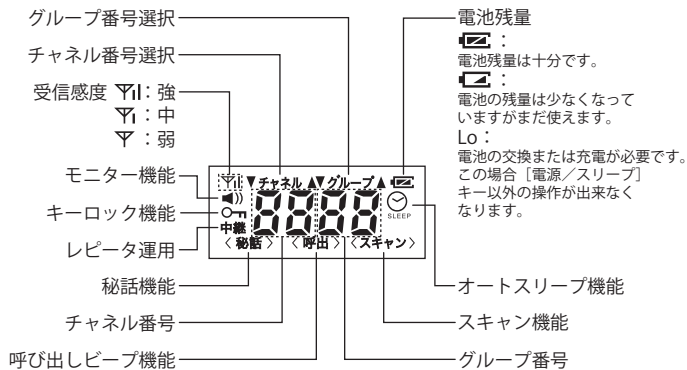
## ⑬ 外部マイクロホン端子 (M) / 外部スピーカー端子 (S)

- オプションのマイク&スピーカーを接続する端子です。
- 外部スピーカー端子 (S) にイヤホンだけを接続することもできます。

## ⑭ 電池ケース蓋

- 電池ケースの蓋です。電池を交換するときには、この蓋を取り外します。

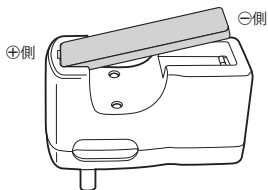
## 表示部のアイコン名称



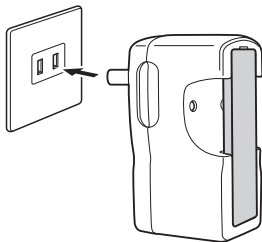
# 準備

## ニッケル水素充電電池の充電方法

- ① ニッケル水素充電電池を図のように充電器に入れます。



- ② 充電器のプラグをコンセント (AC100V) に差し込みます。  
● 充電器のランプが赤く点灯し、充電を開始します。



- ③ 充電時間は、電池を使い切った状態から充電して約5時間です。充電が終わると、ランプが消灯します。充電が終わりましたら、充電器より電池を取り出してください。

※ニッケル水素充電電池NB808JA、充電器CG808JAはオプションです。

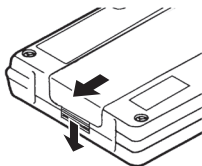
## ⚠ 注意

- 充電器のランプが消えたら、24時間以内にニッケル水素充電電池を取り出ししてください。ランプが消えた後も、微弱な充電が行われているため、長時間の充電はニッケル水素充電電池の性能を低下させる恐れがあります。
- ニッケル水素充電電池を初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、充電器やニッケル水素充電電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電器およびニッケル水素充電電池は、必ず専用のものご使用ください。他の充電器や電池を使用すると、故障や事故の原因となりますので、絶対におやめください。
- 充電器を使用しないときは、コンセントから抜いてください。
- テレビやラジオなどの近くで充電器を使用すると、雑音が入ることがあります。その場合には、離してご使用ください。
- オプションのニッケル水素充電電池 NB808JA を充電するときは、必ず NB808JA 専用の充電器 CG800JA をご使用ください。
- 市販のニッケル水素充電電池や単3形乾電池は充電できません。
- 充電中は、本体の電源を必ず切ってください。
- 充電端子間は、絶対にショートさせないでください。故障の原因となります。

---

## 電池ケースの取り外しかた

- ① ロックボタンに指をかけながら、押し下げます。
- ② 図のように電池ケースをスライドした後、本体から取り外します。

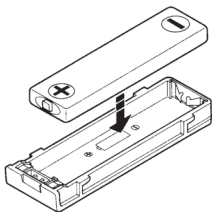


---

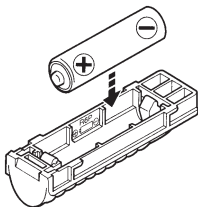
## 電池の入れかた

電池の向きを、電池ケース内に表示されているプラス(+) / マイナス(-)と合わせ、電池ケースに入れます。

ニッケル水素充電電池の場合



乾電池の場合



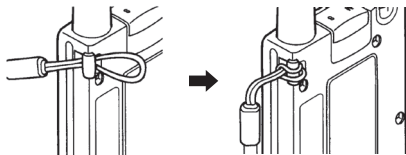
※ニッケル水素充電電池 NB808JA、単3形電池用ケース BT809JA はオプションです。



---

## ハンドストラップの取り付けかた

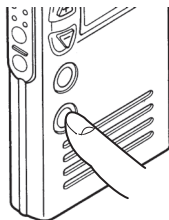
ハンドストラップは、下図のように取り付けます。



# 基本操作 (単信方式)

## 電源オン・オフ

- 1 「電源／スリープ」キーを2秒以上押します。



- 表示部が全表示後、グループ受信ON/OFFの設定が表示され、その後「ピッ」という音とともに表示部にチャンネルなどが表示されます。



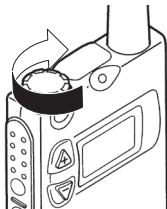
- 2 電源を切るには、「電源／スリープ」キーを2秒以上押してください。
  - 電源が切れます。

### アドバイス

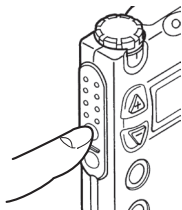
- グループ受信ON/OFFについては、「グループ受信ON/OFF設定」(26ページ)をご覧ください。

## 音量調節

- ① 音量ツマミを時計方向に半分くらい回します。



- 通話が聞こえるときは、その音声を使って音量を調節してください。
- 通話が聞こえないときは、[モニター／モード]キーを1回押します。  
「ザー」という音が聞こえるので、この音を使って音量を調節してください。



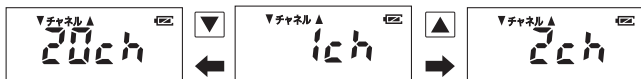
- ② 音量調節が終わりましたら、再度 [モニター／モード] キーを押します。
- ザーという音が消え、待ち受け状態となります。

### ⚠ 注意

- ヘッドセットやイヤホンなどを使う場合は、音量を下げてからご使用ください。  
音量が大きすぎ、耳を痛める恐れがあります。

## チャンネル番号合わせ


- ① 通話する相手と[▲]キー／[▼]キーを使ってチャンネル番号を合わせます。



- チャンネル番号は、業務用チャンネルの1ch～11ch、レジヤ用チャンネルの12ch～20chから選ぶことができます。

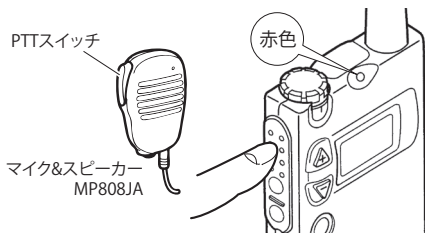


### 🔔 アドバイス

- 表示部に  が表示されているときは、キーロック状態ですからチャンネル番号の変更はできません。
- 通話する相手とチャンネル番号が一致していないと通話はできません。
- 変更されたチャンネル番号(またはグループ番号)は、2秒後にバックアップされます。一度電源を切った場合でも次回からの運用は、変更後の番号で動作します。

## 送信

- 1 [電源/スリープ] キーを2秒以上押し電源をオンします。
- 2 本機またはマイク&スピーカーの [PTT] スイッチを押しながらマイクに向かって話します。
  - TX/BUSYランプが赤色に点灯します。



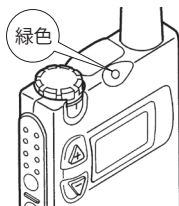
### お願い

本機は、電波法の定める特定小電力無線局の標準規格に基づいた動作になっています。次の点に留意してご使用ください。

- 送信時間は一回約3分です。  
3分以内でご使用ください。  
送信開始後2分50秒経過時にアラーム音で知らせます。
- 連続送信が3分に達した場合は、2秒間の送信休止時間が自動的に設けられます。  
送信休止のときに、[PTT] スイッチを押すとアラーム音になります。
- 送信をやめても2秒以内に再び送信した場合は、連続した送信時間(3分以内)に含まれます。
- さらに [PTT] スイッチを押し続けた場合、同一チャンネルに電波が無ければ、引続き送信状態になります。
- [PTT] スイッチを押したとき、スピーカーよりアラーム音が出て、TX/BUSYランプが緑色に点灯している場合は、すでに同一チャンネルが使用されていることを意味します。  
これは、混信を防ぐ目的で送信を禁止しているためです。  
TX/BUSYランプが消えてから送信してください。

## 受信

- 1 相手が応答するとTX/BUSYランプが緑色に点灯し、スピーカーより相手の音声が聞こえることを確認します。



- 交信相手の電波が弱く相手の音声が途切れるときは、[モニター／モード]キーを押します。

## その他の通信方法について

### ■ グループ通話 (25 ページ)

グループ単位で運用する場合に使用します。  
チャンネル番号とグループ番号が同一の相手のみ通話可能です。



(例：1チャンネル、01グループの場合)

グループ番号設定は、[グループ／秘話] キーを押して、表示をグループにし、14ページのチャンネル番号合わせと同様に行います。  
グループ番号表示のときは、▲グループ▼と表示部に表示されます。

### ■ レピータ (半複信方式) 運用 (27 ページ)

オプションの中継局 (レピータ) を使った半複信方式の運用です。  
レピータを使うことで、通話の範囲を広げることができます。  
レピータ運用の設定は、[モニター／モード] キーを押して、表示を中継にし、14ページのチャンネル番号合わせと同様に行います。



レピータ運用とグループ通話は併用して使えます。この時、チャンネル番号とグループ番号が同一の相手のみ通話可能です。

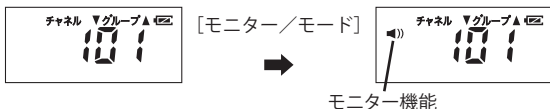
# 基本操作

## モニター機能

通話相手の電波が弱く音声途切れるときなどにお使いください。

- 1 [モニター／モード] キーを押します。

- モニター機能が働きます。



- 2 モニター機能を解除するには、再度 [モニター／モード] キーを押します。

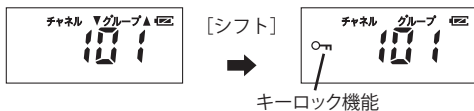
## キーロック機能

キーロック機能が働くと、次のキー操作ができなくなります。

[モニター／モード] キー、[グループ/秘話] キー、[▲] キー / [▼] キー

- 1 [シフト] キーを2秒以上押します。

- キーロック機能が働きます。



- キーロック機能は、電源を切って、再度入れ直しても保持されています。

- 2 キーロック機能を解除するには、再度 [シフト] キーを2秒以上押します。



## 秘話機能

通話の内容を他の人に聞かれたくない時に、秘話機能を働かせます。

- 1 [シフト] キーを押します。
  - 秘話・呼出・スキャンの表示が点滅します。
- 2 [グループ／秘話] キーを押します。



- 秘話が<秘話>表示になります。
- 3 秘話機能を解除するには、[シフト] キーを押した後に、[グループ／秘話] キーを押します。

### アドバイス

- 既に選択されている機能は、機能名が< >内に表示されます。

### 注意

秘話機能を使っても、高度な技術を使うと通話の内容が聞かれることがあります。重要な機密事項を秘話機能を使って通話されるときはご注意ください。

## スキャン機能

チャンネルをスキャンして電波のあるチャンネルを探し出す機能です。スキャンは、単信方式・半複信方式のどちらでも行えます。

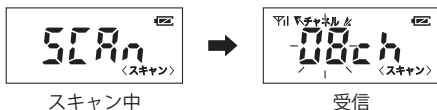
ただし、単信方式のグループ運用をしているときは、同じグループでないと、スキャンで信号を見つけてもスキャンは停止しません。

- 1 [シフト] キーを押します。
  - 秘話・呼出・スキャンの表示が点滅します。
- 2 [▲] キーを押します。



- スキャンが始まります。

- 3 電波を受信すると、チャンネルが表示されることを確認します。



- 4 スキャン機能を解除するには、[シフト] キーを押した後に、[▲] キーを押します。

### 🔧 アドバイス

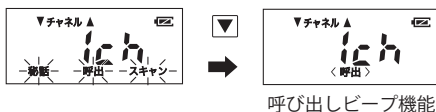
- 電波を受信してスキャンが停止した場合は、[▲] キー / [▼] キーを押して、スキャンを再開できます。
- スキャン中の状態は、電源を切って再度入れ直しても保持されています。

## 呼び出しビーブ機能

電波を受信した時に、ビーブ音を鳴らす機能です。

ただし、グループ運用をしているときは、同じグループでないと、受信してもビーブ音は鳴りません。

- 1 [シフト] キーを押します。
  - 秘話・呼出・スキャンの表示が点滅します。
- 2 [▼] キーを押します。

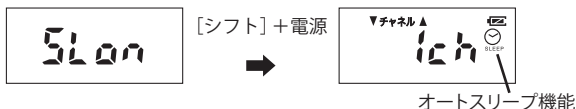


- 呼出が<呼出>表示になります。
- 3 電波を受信すると、ビーブ音が鳴ることを確認します。
    - 呼び出しビーブ音は、どれかキーを押すと止まります。
    - ビーブ音が止まると通常の受信音声を聞く事ができます。
  - 4 呼び出しビーブ機能を解除するには、[シフト] キーを押した後に、[▼] キーを押します。

## オートスリープ機能

2時間以上通話や操作が無いとスリープ状態になり、電池の消費を防ぐ機能です。

- 1 電源を切ります。
- 2 [シフト] キーを押しながら、電源を入れます。
  - オートスリープ機能が働きます。



- オートスリープが働いたときは、2時間以上通話や操作が無いと表示部が消灯します。
- 3 オートスリープ機能を解除するには、一度電源を切ってから再び [シフト] キーを押しながら電源を入れます。

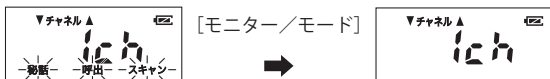
### アドバイス

- オートスリープの状態でも若干の電池の消費があります。長い時間使用しない場合は、[電源/スリープ] キーで電源をオフにしてください。

## ビーブオフ機能

設定の操作などを行った時のビーブ音を鳴らさないようにすることもできます。

- 1 [シフト] キーを押します。
  - 秘話・呼出・スキャンの表示が点滅します。
- 2 [モニター／モード] キーを1.5秒以上押します。
  - ビーブオフ機能が働きます。



- 3 どれかのキーを押して、ビーブ音が鳴らないことを確認します。
- 4 ビーブオフ機能を解除するには、再度 [シフト] キーを押した後に、[モニター／モード] キーを1.5秒以上押します。

### アドバイス

- 送信禁止のビーブ音はこの機能を使っても止めることはできません。
- [モニター／モード] キーを押した際に、何も受信していないと「ザー」という音が聞こえますが、これはモニター機能が働くためで不具合ではありません。

---

## バッテリーセーブ機能

電池の消耗を防ぐ為に、通常は常にバッテリーセーブ機能が働いています。

---

## バックライト機能

暗い場所でキーが押された時に、自動的に表示部のバックライトが5秒間点灯します。

- 1 どれかのキーを押します。
  - [PTT] スイッチを押しても、バックライトは点灯しません。
  - キーが押されても、明るい場所ではバックライトは点灯しません。

# 応用操作

## グループ通話

同じチャンネルを使用している他の人の通話が混信するときに、グループ通話を使うと同じグループの人だけの通話を聞くことができます。

- 1 通話する相手と[▲]キー／[▼]キーを使ってチャンネル番号を合わせます。
- 2 [グループ／秘話]キーを押します。
  - グループの表示がでます。



- 3 通話する相手と[▲]キー／[▼]キーを使ってグループ番号を合わせます。



- グループ番号は、業務用チャンネル、レジャー用チャンネルともに01～38から選ぶことができます。



### アドバイス

- 同じチャンネルでグループ通話の設定をしていない人には、通話が聞こえてしまいますのでご注意ください。

## ■ グループ受信 ON/OFF 設定

グループ受信 ON を設定すると、同じチャンネルで同じグループ番号の相手からの通話だけを聞くことができます。

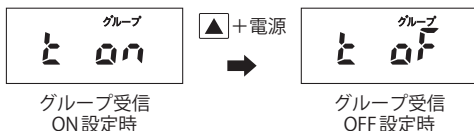
グループ受信 OFF を設定すると、グループ通話の状態でも、同じチャンネルのグループ番号が違う相手からの通話も聞くことができます。

グループ受信 OFF を設定しても、送信のときはグループ番号に従ってグループ信号 (CTCSS トーン) を送信します。

## ■ グループ受信 ON/OFF の設定方法

① [▲] キーを押しながら電源を入れます。

- アップキーを押しながら電源を入れる毎に、グループ受信の ON/OFF が切り替わります。



工場出荷状態は、グループ受信 ON 設定の状態です。

グループ受信 ON/OFF 設定は単信方式と半複信方式 (レピータ運用) の両方に同時に設定されます。

### 🔍 グループ受信 ON/OFF 設定のご注意

レピータ運用をするときは、つぎの点にご注意の上、利用状況に適した設定を選択してください。

#### ● グループ受信 ON 設定の場合

レピータから送信される起動音や回線保持音などのピープ音が聞こえなくなります。

#### ● グループ受信 OFF 設定の場合

レピータから送信される起動音や回線保持音などのピープ音を聞くことができます。



## レピータ運用（半複信方式）

P808を使用してより広いサービスエリアを確保したいときは、オプションの特定小電力無線電話用レピータのご利用をお薦めします。

- 1 無線機の電源を入れます。
- 2 [モニター／モード] キーを1.5秒以上押します。

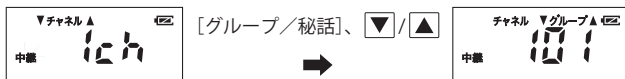


- 中継が表示されます。

- 3 [▲] キー / [▼] キーを押して、無線機のチャンネルをレピータのチャンネルと一致させてください。
  - チャンネルは、01ch～27chから選ぶことができます。



- 4 グループ通話の設定をしているときは、[グループ／秘話] キーを押し、[▲] キー / [▼] キーを使って無線機のグループ番号をレピータのグループ番号を合わせます。



- 実際の使用方法は、レピータの取扱説明書をご覧ください。

## アドバイス

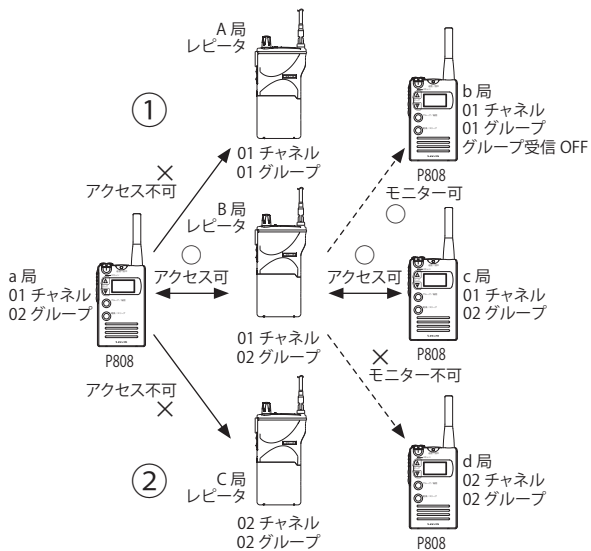
- チャンネルが一致しないと通話できません。
- グループ通話の設定をしているときは、グループ番号も一致しないと通話できません。
- グループ番号は、レピータ局のアクセス（レピータ局を駆動する）信号として使用されます。
- レピータ局のアクセス信号は、レピータ局毎に異なります。  
レピータ局のサービスエリアや、アクセス信号の設定に関してはお買い上げ頂いた販売店あるいはCSRカスタマーサポートにご相談の上ご利用ください。
- [モニター／モード] キーを押した際に、何も受信していないと「ザー」という音が聞こえますが、これはモニター機能が働くためで不具合ではありません。

### ■ レピータ局の運用例図（グループ通話の設定をしているとき）

図はa局がB局（レピータ局）を中継局としてc局と通話を行っている状態を示しています。

例：①の場合は、グループ番号が一致していないため通話できません。

例：②の場合は、チャンネル番号が一致していないため通話できません。グループ受信ON設定の場合は、チャンネル番号とグループ番号が同じ一致しているときだけ、B局のレピータ信号を受信できます。グループ受信OFF設定で、チャンネル番号が同じであるb局は、グループ番号が違って、B局のレピータ信号を受信できます。但し、送信する場合はグループ受信ON/OFFのどちらの設定でも、B局とチャンネル番号とグループ番号が同じ一致しているときだけ、レピータにアクセスすることができます。



# 定 格

## 一般仕様

送受信周波数	400MHz帯の48チャンネル(制御チャンネルを含む)
電波形式	F3EおよびF1D(制御チャンネルはF1Dのみ)
通信方式	単信方式および半複信方式
定格電圧	+1.2V
発振方式	水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式
周波数切替方式	手動切替および自動切替
周波数の許容差	±4.0ppm以内
寸法	幅55mm 高さ94.5mm 奥行き15mm (アンテナ、突起物含まず)
質量	約110g(NB808JA装着時)
使用温度範囲	-20°C～+60°C

## 受信部

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
第1中間周波数	21.7MHz
第2中間周波数	450kHz
受信感度	-7dB $\mu$ 以下(12dB SINAD法にて)
スケルチ感度	-10dB $\mu$ 以下
低周波出力	15mW以上(8 $\Omega$ 負荷10%ひずみにて)
スピーカーインピーダンス	8 $\Omega$
副次的に発射する電波等の強度	4nW以下

## 送信部

送信出力 .....	10mW以下
変調方式 .....	可変容量ダイオードによる直接周波数変調方式
占有周波数帯域幅 .....	8.5kHz以内
最大周波数偏移 .....	± 2.5kHz以内
不要輻射 .....	2.5 $\mu$ W以下

## 電池使用可能時間の目安

ニッケル水素充電電池NB808JA .....	約16時間
単3形マンガン電池 .....	約8時間
単3形アルカリ電池 .....	約30時間

条件：送信30秒、受信30秒、待受け4分の割合で動作させた場合

※本機の規格および外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## その他

### オプション紹介

BT808JA .....	ニッケル水素充電電池用ケース (NB808JA 専用)
BT809JA .....	単3形電池用ケース
CG808JA .....	ニッケル水素充電電池用充電器 (NB808JA 専用)
MP808JA.....	小型マイク&スピーカー
MP809JA.....	タイピン型マイク&イヤホン
NB808JA .....	ニッケル水素充電電池
LC808JA.....	キャリングケース

---

## 保証・アフターサービス (よくお読みください)

### 【保証書 (別添)】

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 【保証期間】

保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

### 【保証用性能部品の最低保有期限】

CSRはこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### 【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

### CSR カスタマーサポート



**0120-973-698**

e-mail : [lecuo\\_support@kcsr.co.jp](mailto:lecuo_support@kcsr.co.jp)

ご相談受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日祝日を除く)



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351  
 関西支店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700  
 札幌営業所  名古屋営業所  
 仙台営業所  九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/>

営業所住所はこちら▶



## 株式会社 CSR

〒 252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 5 丁目 33 番 4 号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<http://www.kcsr.co.jp/>

### CSR カスタマーサポート



0120-973-698

e-mail : [lecuo\\_support@kcsr.co.jp](mailto:lecuo_support@kcsr.co.jp)

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

お問い合わせは、販売店あるいは CSR カスタマーサポートで承っております。